

■社会資本総合整備計画(河川・ダム事業)事後評価

計画の名称				H26末 事後評価						
計画の成果目標 (定量的指標)	定量的指標の定義及び算定式	進捗状況 ※1		効果の発現状況	目標の実現状況					今後の方針
		うち着手済事業数 全体事業数	進捗度 ※2		単位	計画 実績	H22当初	目標値 実績値	達成度 ※3	
北海道における良好な河川環境の保全・復元及び創出				H26末 事後評価						
目標① 魚道の整備	魚類の遡上に支障となっている落差工などを改築する基数	$\frac{2}{2}$	100%	別紙4	基	計画 実績	0	$\frac{21}{14}$	67%	今後も、引き続き落差工改築工事の進捗を図る。
目標② 床止めの整備	湿原乾燥化の一因である河川からの土砂流入を抑制するため、床止めを整備する基数	$\frac{1}{1}$	100%		基	計画 実績	0	$\frac{10}{10}$	100%	(床止めの整備については、計画基数すべて設置)
目標③ 流水環境の改善	失われつつある流水環境を改善するため、河道を掘削する延長	$\frac{1}{1}$	100%		km	計画 実績	0	$\frac{1.8}{1.8}$	100%	(河道掘削については、計画延長すべて実施)
目標④ 河川管理施設の整備	地域の取組みと一体となった「かわまちづくり」に位置づけられた河川管理施設を整備する延長	$\frac{3}{3}$	100%		km	計画 実績	0	$\frac{2.3}{2.3}$	100%	今後も、引き続き河川管理施設整備の進捗を図る。

※1 進捗状況を表す事業数は、成果目標達成に資する対象要素事業数を示す。

※2 進捗度: 計画終了時点での事業着手済箇所の進捗割合(事業着手済事業数 / 全体事業数)として示している。

※3 達成度: H26末目標値に対する達成割合を次の式で算出。

$$\text{達成度} = (\text{実績値} - \text{H22当初}) / (\text{目標値} - \text{H22当初})$$

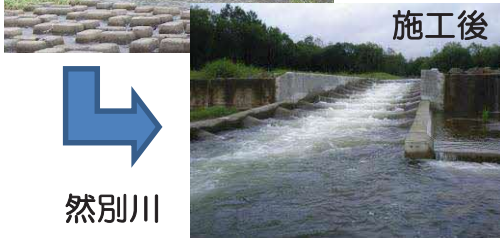
北海道における良好な河川環境の保全・復元及び創出

目標①：魚道の整備



施工前

魚類の遡上に支障となっている落差工などの改築を実施



施工後



然別川

落差工等改築基数
計画：0 → 21基
実績：0 → 14基

※然別川、天塩川で魚道を施工

目標②：床止めの整備



施工前

河床低下
4m

湿原乾燥化の一因である河川からの土砂流入を抑制するため、床止めを整備



施工後



久著呂川

床止め整備基数
計画：0 → 10基
実績：0 → 10基

※釧路湿原へ流入する久著呂川で床止めを整備

目標③：流水環境の改善



施工前

失われつつある流水環境を改善するため、河道を掘削



施工後



美々川

掘削延長
計画：0 → 1.8km
実績：0 → 1.8km

※美々川で河道の掘削を実施。流速と川幅のある河道が回復。

目標④：河川管理施設の整備



地域の取組みと一体となった「かわまちづくり」に位置づけられた河川管理施設を整備

整備延長
計画：0 → 2.3km
実績：0 → 2.3km

勝納川

※勝納川、旧オベトン川、大沼で散策路整備などを実施